

八尾市立病院経営計画の実施状況／平成28年度

<評価>

A→目標を達成または目標とする状況を実現
 B→項目により目標に届かないものがあるが、概ね目標とする状況を実現
 C→取り組みは一定進めたが目標未達成 D→具体的に進まず

1. 公立病院としての役割を果たす取り組み

経営計画の項目【1】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																																																																																										
(1) 地域医療支援病院の承認継続	・地域医療支援病院の承認継続	・地域医療支援病院の承認要件の維持	・H28年度実績 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>地域医療支援病院の承認</td> <td>承認継続</td> <td></td> <td></td> <td>継続</td> </tr> </table> ・地域医療支援委員会の開催(年4回)		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	地域医療支援病院の承認	承認継続			継続	A	・地域医療支援病院の要件(紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上)については、初診紹介患者数、診療情報提供件数の増加に努め、紹介率・逆紹介率ともに目標を上回り承認を継続した。																																																																																
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																																																											
地域医療支援病院の承認	承認継続			継続																																																																																											
(2) 医療連携の強化	・紹介率 年間 50.0 %以上 ・逆紹介率 年間 70.0 %以上 ・病・診・薬連携ネットワークシステムの情報共有患者数 605人	・診療機能の充実 紹介への確実な対応 高度医療機器による検査・治療および手術件数の増 ・共同利用・開放病床の運用 ・登録医・医療機関の増加 ・病院・診療所・薬局連携ネットワークシステムの運用拡大 ・地域連携クリティカルパスの適用拡大 ・地域の医療従事者・医療機関等との研究会、協議会、講演会等の開催 ・医療機関への広報(診療機能のPR)	・H28年度実績 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>57.5</td> <td>115.0</td> <td>52.9</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>83.6</td> <td>119.4</td> <td>74.0</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td>初診患者数(人)</td> <td>35,405</td> <td></td> <td>36,800</td> <td>△ 1,395</td> </tr> <tr> <td>初診紹介患者数(人)</td> <td>12,456</td> <td></td> <td>12,388</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>診療情報提供件数(件)</td> <td>18,092</td> <td></td> <td>17,338</td> <td>754</td> </tr> </table> (件) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>(うち登録医)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>主要機器の共同利用件数</td> <td>1,518</td> <td>(1,095)</td> <td>1,496</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>うちCT検査</td> <td>624</td> <td>(479)</td> <td>644</td> <td>△ 20</td> </tr> <tr> <td>うちMRI検査</td> <td>472</td> <td>(336)</td> <td>456</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>うち内視鏡</td> <td>142</td> <td>(106)</td> <td>174</td> <td>△ 32</td> </tr> </table> ・H28年度実績 (件・人) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>接続機関数(3月末現在)</td> <td>84</td> <td></td> <td>81</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>情報共有患者数(")</td> <td>1,047</td> <td>173.1</td> <td>773</td> <td>274</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関(")</td> <td>439</td> <td></td> <td>435</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地域連携パス新規適用件数</td> <td>48</td> <td></td> <td>39</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>23</td> <td></td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>25</td> <td></td> <td>27</td> <td>△ 2</td> </tr> </table> <会議・講演会・研修会等> ・中河内地域感染防止対策協議会 合同カンファレンス(10/1、2/18) 個別カンファレンス(6回) ・八尾地域医療合同研究会(5/14、10/15)その他圏域講演等の活動 ・緩和ケア研修会(10/22～10/23) ・中河内がん診療ネットワーク協議会(シンポジウム1/28) ・市内病院事務長会議(隔月) ・大阪府医師会勤務医部会第4ブロック会議(年4回) ・医療機関への訪問活動 1,615回 ・「地域連携室だより」発行(隔月900部) ・「診療のご案内」発行(年間600部)		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	紹介率(%)	57.5	115.0	52.9	4.6	逆紹介率(%)	83.6	119.4	74.0	9.6	初診患者数(人)	35,405		36,800	△ 1,395	初診紹介患者数(人)	12,456		12,388	68	診療情報提供件数(件)	18,092		17,338	754		H28	(うち登録医)	H27	H28-H27	主要機器の共同利用件数	1,518	(1,095)	1,496	22	うちCT検査	624	(479)	644	△ 20	うちMRI検査	472	(336)	456	16	うち内視鏡	142	(106)	174	△ 32		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	接続機関数(3月末現在)	84		81	3	情報共有患者数(")	1,047	173.1	773	274	登録医療機関(")	439		435	4	地域連携パス新規適用件数	48		39	9	脳卒中	23		12	11	大腿骨頸部骨折	25		27	△ 2	A	・初診患者数は眼科の常勤医退職等により前年度より減少し、初診紹介患者数は若干増加したことにより、紹介率、逆紹介率とも上昇した。H28年4月から初診時選定療養費を改定したことにより、算定の対象となる紹介によらない初診患者数(救急・小児等除く)が対前年度で1,563件(22.9%)減少しており、地域医療機関との連携推進と指標の向上に貢献したと考えられる。 ・地域医療支援病院に求められる機能のうち医療機器の共同利用については、前年度実績より若干増加しており、高度医療機器の有効活用のため、地域医療機関へのPRにより紹介件数の増加に努める。 ・病院・診療所・薬局連携ネットワークシステムの接続医療機関数は、前年度から若干の増加にとどまったが、情報を共有した患者数は前年度から274人(35.4%)と大きく増加し目標を上回った。 また地域連携クリティカルパスについては、脳卒中のパスにおいて適用件数を増やした。 ・地域の医療従事者、医療機関等との連携として、「中河内地域感染防止対策協議会」の合同・個別カンファレンスを継続したほか、緩和ケア研修会、中河内がん診療ネットワーク協議会の会議やシンポジウム、地域の医療従事者が参加する研修会の開催、圏域講演活動への講師派遣等を積極的に行った。
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																																																											
紹介率(%)	57.5	115.0	52.9	4.6																																																																																											
逆紹介率(%)	83.6	119.4	74.0	9.6																																																																																											
初診患者数(人)	35,405		36,800	△ 1,395																																																																																											
初診紹介患者数(人)	12,456		12,388	68																																																																																											
診療情報提供件数(件)	18,092		17,338	754																																																																																											
	H28	(うち登録医)	H27	H28-H27																																																																																											
主要機器の共同利用件数	1,518	(1,095)	1,496	22																																																																																											
うちCT検査	624	(479)	644	△ 20																																																																																											
うちMRI検査	472	(336)	456	16																																																																																											
うち内視鏡	142	(106)	174	△ 32																																																																																											
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																																																											
接続機関数(3月末現在)	84		81	3																																																																																											
情報共有患者数(")	1,047	173.1	773	274																																																																																											
登録医療機関(")	439		435	4																																																																																											
地域連携パス新規適用件数	48		39	9																																																																																											
脳卒中	23		12	11																																																																																											
大腿骨頸部骨折	25		27	△ 2																																																																																											

※「実施状況」欄における「達成率(%)」は、経営計画(Ver. II)で設定した平成28年度の年間目標に対する年間の実績の割合。また「H28」は、平成28年度実績。

経営計画の項目【1】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など
(3) 救急患者の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 救急診療体制 現行の体制維持 救急患者数 年間 21,200 人 うち救急搬送患者数 年間 3,350 人 うち入院患者数 年間 2,520 人 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の確保(救急、一般内科) 内科・外科→24時間365日 小児科→輪番制(毎週火・土) 断らない救急をめざし、ベッド確保(ベッドコントロール) 心臓コール、脳神経外科、形成外科の救急受け入れの継続、画像転送による診断力の向上 救急受け入れ体制強化に向け、施設整備によるICU増床(5床→6床)(H27.6月) 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 H28 達成率(%) H27 H28-H27 救急診療体制 内科・外科→24時間365日 小児科→輪番制(毎週火・土) 継続 H28年度実績 (人) H28 達成率(%) H27 H28-H27 救急患者数 21,002 99.1 21,018 △ 16 うち救急搬送患者数 4,064 121.3 3,772 292 うち入院患者数 2,518 99.9 2,526 △ 8 	A	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療については、現状の救急診療体制と、心臓コール等のオンコールによる対応を継続するとともに前年度からの救急搬送受け入れ件数の増加に取り組んだ。 救急患者数、救急からの入院患者数は、前年度実績及び目標を若干下回ったが、輪番制の小児初期救急患者が対前年度373人の減、うち入院患者が60人の減となったことが要因で、小児科以外の救急患者は357人増、うち入院患者は52人増となった。 救急搬送の受入件数は、救急医療活性化の取り組みの継続により、小児科以外で対前年度246人の増、また小児科も対前年度46人の増となり目標を上回った。
(4) 周産期医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> 分娩件数 年間 774 件 搬送受入件数 年間 45 件 NICUの病床利用率 年間 80.0 % 	<ul style="list-style-type: none"> 分娩件数の目標達成に向けた分娩の受け入れ 近隣の病院、産婦人科医院との連携(紹介、新生児蘇生法の研修会実施) 地域周産期母子医療センターとしてOGCS、NMCSシステムへの協力 NICUの効率的運用 産婦人科、小児科、NICUの連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 (人) H28 達成率(%) H27 H28-H27 分娩件数 778 100.5 736 42 OGCS、NMCS等による受入数※ 58 128.9 46 12 NICU病床利用率(%) 66.0 82.5 77.6 △ 11.6 異常分娩件数(件) 197 167 30 ※OGCS、NMCSによるもののほか、当院での出生児のうち2000g未満のNICU入院児数23件(H27→22件)を含む 助産外来の設置に向けた準備 	A	<ul style="list-style-type: none"> 分娩件数については前年度実績及び目標を上回った。また、現状の診療体制が続く中で、妊産婦の多様なニーズに応じ、安全・安心・快適なお産の場を提供するとともに、医師の負担軽減にもつなげることをめざし、H29年4月に助産外来を開設した。 地域周産期母子医療センターの役割であるOGCS、NMCS等による受け入れ件数は前年度と目標を上回った。またNICUへの新入院患者は前年度より増えたが、平均在院日数は前年度より短く、病床利用率は前年度実績及び目標を下回った。分娩件数の増加をめざすと同時に、地域周産期医療において引き続き重要な役割を担っていく。
(5) 疾病予防事業の提供	<ul style="list-style-type: none"> 人間ドック実施体制 週2回実施の継続 検診体制の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 人間ドック実施件数の目標達成に向けた受け入れ 外来、入院治療に支障のない範囲での、その他健診、予防接種の受け入れ 小児科における食物アレルギーおよび低身長検査入院の積極的受け入れ 医療ケアを要する重症心身障がい児の短期入院受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 (件) H28 達成率(%) H27 H28-H27 人間ドック 週2回実施の継続 継続 人間ドック件数 762 674 88 (うち脳ドック) (172) (136) (36) 乳がん検診 1,659 1,411 248 子宮がん検診 590 679 △ 89 大腸がん検診 155 254 △ 99 特定健診 857 891 △ 34 小児科入院検査→3-(2) 重症心身障がい児の短期入院受け入れ件数→3-(2) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 人間ドック検診は、毎週月・水曜日の実施を継続したが、H28年度は対前年度で脳ドック件数が増加するとともに、実施日数の違い等により一般ドックも増加した。 なお、実施日の拡大が困難な中、他の健(検)診への影響を考慮しながら、H29年4月からは月曜日の健診枠を1名増やした。 他の検診では、乳がんに対する関心の高まりから増加傾向が続いている乳がん検査が、対前年度248件(17.6%)の増となった。
(6) 地域住民、関係機関に対する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 市立病院公開講座、出前講座の開催 地域住民に対する情報発信 保健所、学校等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 市立病院公開講座、出前講座の開催 地域住民に対する情報発信 保健所、学校等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市立病院公開講座(6回実施) 出前講座 10回開催、その他各種研修会講師派遣 12件 健康相談(看護部)、お薬相談(薬剤部)→公開講座開催時等 (後援)市民医療公開講座～知っておきたい「がん」の知識～(大阪広域医療情報交換会)(9/17) (共催)「患者と向き合うがん医療を実現するために」(2/16) 大阪府によるがんの教育総合支援事業(10/28龍華中、11/11山本高) 市政だよりへの掲載・市立病院だよりの発行 FMちゃおへの出演 保健師介入中のケアを要する小児例の情報交換会(3月) 地域生徒の体験学習受け入れ 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民への情報発信として、八尾市立病院公開講座を6回実施したほか、地域がん診療連携拠点病院として、大阪広域医療情報交換会、中河内がん診療ネットワーク協議会と協力講演会やシンポジウムの開催等、地域住民への情報発信に努めた。またこれらに併せて看護部・薬剤部による相談事業を継続した。 地域からの要望に応え、市民の健康意識の向上や市立病院への理解を深めてもらうことを目的とし、10回の出前講座に職員を派遣した。また、大阪府がんの教育総合支援事業の一環として市内中学、高校(各1校)の研究授業に協力した。H29年度においても地域の要望に可能な限り応える。
(7) 市災害医療センターの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 災害時受け入れ訓練の実施 防災備蓄倉庫の拡張、災害時対応資器材の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 応急救護訓練の継続実施 整備が必要な資器材の選定とその配置 インフルエンザ関連備品の備蓄 災害対策要員用食糧備蓄の開始(5年で充足予定) 防災備蓄倉庫の整備(H27.3月完了) 院内防災マニュアルの改訂 	<ul style="list-style-type: none"> 応急救護訓練実施(10/6) 自衛消防自主訓練(10/27、2/23) H28年度実績 H28 達成率(%) H27 H28-H27 災害時受け入れ訓練の実施 継続実施 災害時対応資器材の充実 継続 	A	<ul style="list-style-type: none"> 市災害医療センターとしての機能充実に向け、施設整備により北館に防災備蓄倉庫を設置し、併せて災害用備品・食料等備蓄品の購入を進めた。また、災害発生に備えた応急救護訓練を継続実施した。

2. 医療の質の向上に対する取り組み

経営計画の項目【2】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など
(1)がん診療の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間がん患者数 年間 2,210 件 がん患者の手術件数 年間 1,050 件 外来化学療法件数 年間 4,200 件 放射線治療件数 年間 6,800 件 がん診療地域連携クリティカルパス運用件数 3月末 122 件 	<ul style="list-style-type: none"> 地域がん診療連携拠点病院の継続 診療機能の充実(検査、治療) 遺伝子検査の実施 緩和ケア、がん相談の継続実施 外来化学療法室の拡張(H27.6月) がん診療地域連携クリティカルパスの運用 がんに関する研修会等の実施 がんに関する市民への情報提供 診療機能のPR 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 (人、件) H28 達成率(%) H27 H28-H27 年間がん患者数 2,036 92.1 2,044 △ 8 がん患者の手術件数 1,100 104.8 979 121 外来化学療法件数 4,624 110.1 4,451 173 放射線治療件数 8,257 121.4 3,119 5,138 がん診療地域連携クリティカルパス運用数(3月末) 192 157.4 180 12 がん相談件数 1,170 1,703 △ 533 " (新規) 642 774 △ 132 緩和ケア新規介入件数 129 132 △ 3 セカンドオピニオン(35件)、肝臓がんよろず専門外来(4件) 緩和ケア研修会→1-(2) 市立病院公開講座・がん教育事業への協力→1-(6) 中河内がん診療ネットワーク協議会→1-(2)(6) がん患者とその家族を対象にした展示「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」開催 ピンクリボン運動「ジャパン・マンモグラフィ・サンデー」参加 	B	<ul style="list-style-type: none"> がん患者数は前年度とほぼ同数となり、目標を下回ったが、がん手術件数は前年度より12.4%増加し目標を上回った。 また外来化学療法件数、放射線治療件数ともに前年度実績と目標を上回った。放射線治療については、リニアック更新(H27)による件数増加を見込んでいたが、目標を大きく上回り、収益向上に貢献した。 地域医療連携の充実に向けた、がん診療連携クリティカルパスの運用件数は着実に増加し目標を上回った。がん相談支援センターにおける相談件数はスタッフの産休等により前年度より減少したが、勉強会及び患者サロンの継続開催など内容の充実に努めた。 「地域がん診療連携拠点病院」として、地域医療連携の一層の強化によりがん治療、がん相談支援事業に取り組むとともに、公開講座、講演会等、様々な機会を通じ地域への情報提供に努める。
(2)チーム医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> チーム医療の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 各チームでの活動の活性化とその成果発表会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 H28 達成率(%) H27 H28-H27 チーム医療活動 チーム医療推進委員会を中心とした活動、発表会の開催 継続 活動チーム数 8チーム(栄養管理、緩和ケア、褥瘡対策、化学療法、院内感染対策、呼吸ケア、周術期血栓対策、退院調整) 発表会実施(3/6) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 医療の質の向上に向け複数の職種のスタッフがチームを組んで行う「チーム医療」については、チーム医療推進委員会を中心に活動を継続し、その活動内容を院内に発表した。 また、院内感染対策チームは中河内地域感染防止対策協議会に参画し、カンファレンス活動を通じ各医療施設の感染対策のレベルアップに寄与した。
(3)手術室の効率的な運用	<ul style="list-style-type: none"> 手術室において実施するもの 年間 4,530 件 うち全身麻酔手術 年間 2,365 件 うち鏡視下手術 年間 538 件 	<ul style="list-style-type: none"> 手術、全身麻酔手術、鏡視下手術等の増加 市立病院公開講座等における手術のPR 地域医療機関へのPR 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 (件) H28 達成率(%) H27 H28-H27 手術件数(全体) 4,076 90.0 4,497 △ 421 全身麻酔手術件数 2,812 118.9 2,673 139 鏡視下手術件数 724 134.6 544 180 ※中央手術室において実施する手術 ※鏡視下手術とは、腹腔鏡下手術と胸腔鏡下手術の総称 	B	<ul style="list-style-type: none"> 中央手術室における手術件数は、眼科の手術が皆減(△567件)となったことにより、全体では目標と前年度実績を下回ったが、全身麻酔手術件数は対前年度で5.2%の増、また鏡視下手術件数は対前年度で33.1%の増となり、いずれも目標を上回った。
(4)クリニカルパスの充実による医療の標準化	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者に対する院内クリニカルパス適用率 57.0 % 	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスの整備と運用 学術集会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 (%) H28 達成率(%) H27 H28-H27 入院患者に対する院内クリニカルパス適用率 61.6 108.1 54.6 7.0 ※H28、H27とも院内クリニカルパスの適用基準見直し後の数値 研修会開催 (1/13) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 院内クリニカルパスの適用を着実に進めた結果、適用率は前年度実績、及び目標を上回り治療の標準化がさらに進んだ。また、クリニカルパスの活用推進のため、パス委員会では院内研修会の開催に加え、H28年度から日本クリニカルパス学会の学術集会に参加する等の活動を行った。
(5)医療安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 継続的取り組み(院内巡視活動等)の計画と実践 職員への周知・啓発のための定期的な活動 	<ul style="list-style-type: none"> 院内セーフティラウンドの実施 医療安全講演会開催(年3回) 院内感染対策講演会開催(年2回) 院内の標語を毎月電子カルテシステムに掲示 	<ul style="list-style-type: none"> 院内セーフティラウンド、ICT病棟ラウンドの実施(毎月) 標語の電子カルテシステム掲載 院内スタッフを対象とした医療安全講演会(7/11、11/28、1/27) 院内スタッフを対象とした院内感染対策講演会(9/8、3/7) 感染対策管理室設置(H28/4/1) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 計画に従い、医療安全管理室、医療安全管理委員会、感染対策管理室、院内感染対策委員会を中心に、医療従事者への情報の周知、職場の巡視、講演会の開催等に取り組んだ。

経営計画の項目【2】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況				評価	取り組みの評価・課題など	
(6)患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇の向上 ・市民ボランティアの参画等 	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇向上に向け、職員対象に研修会を実施 ・利用者からの意見に対する対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度実績 (％) 				A	<ul style="list-style-type: none"> ・患者から寄せられた様々な声は、接遇改善委員会において対応を検討し、これらの情報を院内に提供した。また、接遇研修として講演会の開催など接遇向上に努めた。 ・PFI事業者においても患者アンケート、食事アンケートを継続実施し、これらの結果を業務改善に活かし、高い満足度の維持に努めた。 また病院ボランティアについては、16人の方に外来での案内や患者誘導に従事いただいた。 ・H27年度に設けた院内の表彰制度(Best Hospitality賞)については、選考基準を見直し、患者からの感謝やお礼の投書、手紙によるもののほか、所属長等からの推薦があった職員についても選考の対象に加えた。平成28年度は、団体表彰として2つの所属、推薦表彰としてボランティア団体が選ばれた。 ・TQM活動は、PFI事業者を含めた11チームが参加し、業務改善、患者サービスの向上に向け活動し成果を発表した。H29年度からは、この間の成果や課題を踏まえ、TQM活動実行委員会を中心に活動内容や手法の検討を行う。 	
			患者アンケート結果 ※	H28	達成率(%)	H27			H28-H27
			入院患者満足度	94.4		95.9			—
			外来患者満足度	91.1		91.2			—
			<ul style="list-style-type: none"> ※H28年度は12/5～12/11に実施、入院・外来とも回答者のうち総合的な評価で「満足」又は「やや満足」と回答した人の割合 ・接遇研修会(6/6) ・利用者からの意見に対する対応、結果の公表(対応を公表することが必要と判断したもの) ・接遇強化月間の設定による接遇の意識向上(10月) ・Best Hospitality賞(接遇大賞)の継続実施 						
			<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度実績 (3月末登録人数) (人) 						
				H28	達成率(%)	H27			H28-H27
			病院ボランティア登録数	16		18			△ 2
			TQM活動実績	研修会・活動・発表会		継続・展開			
			<ul style="list-style-type: none"> ・絵画の掲示の更新(10/1) ・院内コンサート実施(6/8、10/29、3/18) 						
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加チーム数 11チーム ・TQM活動実行委員会による活動 								

3. 健全経営の確保に対する取り組み

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																																																												
(1)医療スタッフの確保 ①医師の確保	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月1日の計画数 正職員 82人 嘱託員 15人 勤務環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 各大学医局への要請を継続 診療方針・機能、医療ニーズに対応した診療科医師の重点確保 派遣大学との人事交流の促進 学会発表等の推奨 臨床研修プロジェクトの充実 モチベーション向上策の検討 院内保育所の設置・運営等 医師事務作業補助者の増員 	<ul style="list-style-type: none"> 4月1日現在の医師数 (人) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29.4.1</td> <td>達成率(%)</td> <td>H28.4.1</td> <td>H27.4.1</td> </tr> <tr> <td>正職員</td> <td>86</td> <td>104.9</td> <td>82</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>嘱託員</td> <td>22</td> <td>146.7</td> <td>16</td> <td>13</td> </tr> </table> ※初期研修医を除く。 大学等への訪問活動の継続 臨床研修医合同説明会(7/5)、近畿厚生局病院説明会(2/20) 大阪市立大学説明会(10/31)、大阪大学説明会(3/5) 院内保育ルーム利用者(3月末)常時9人、一時6人 うち医師の利用:常時3人、一時2人 		H29.4.1	達成率(%)	H28.4.1	H27.4.1	正職員	86	104.9	82	79	嘱託員	22	146.7	16	13	A	<ul style="list-style-type: none"> H29年4月の医師数については、医師確保の取り組みにより前年4月から10人(正職員4人、嘱託6人)の増となり目標を上回った。 医師の充足は困難な状況が続いているが、内科を中心にニーズが高い分野の医師確保に向け、引き続き幹部職員による大学への働きかけを精力的に行う。 																																													
	H29.4.1	達成率(%)	H28.4.1	H27.4.1																																																													
正職員	86	104.9	82	79																																																													
嘱託員	22	146.7	16	13																																																													
②看護師、医療技術員などの確保	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月1日の計画数 看護師 315人 医療技術員 68人 事務職員 19人 年間を通じ、7:1基準看護等の条件を維持 新たな加算取得に向けた配置計画と採用 医師事務作業補助者数 16人 	<ul style="list-style-type: none"> 情勢に対応した職員の迅速な確保に向け、職員採用試験を随時実施 非正規職員等の随時採用と活用 職員採用情報の広報(ホームページ、市政だより、ハローワーク等) 多様な勤務形態の整備(2交代の検討) 時間帯や各職場の需要に応じた人員の柔軟な配置と応援体制の継続 再就職支援事業への協力 専門資格取得等の支援の継続 実習生受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 4月1日現在の職員数 (人) <table border="1"> <tr> <td>職員数内訳</td> <td>H29.4.1</td> <td>達成率(%)</td> <td>H28.4.1</td> <td>H27.4.1</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>86</td> <td>104.9</td> <td>82</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>314</td> <td>99.7</td> <td>312</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>医療技術員</td> <td>70</td> <td>102.9</td> <td>68</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>事務職員</td> <td>19</td> <td>100.0</td> <td>18</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>【合計】</td> <td>489</td> <td>101.0</td> <td>480</td> <td>470</td> </tr> </table> ※事業管理者除く 【嘱託・臨時職員合計】 159 / 136 / 131 【総合計】 648 / 616 / 601 不足する特定部門の職員の募集計画 地域の求人情報誌の活用、看護部による学校訪問 病棟の2交代制実施(H28年4月から8階東病棟で実施、実施拡大のための調整、H29.4から6階東病棟) 看護師の再就職支援講習会への協力 4月1日現在の職員数 (人) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29.4.1</td> <td>達成率(%)</td> <td>H28.4.1</td> <td>H27.4.1</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>25</td> <td>156.3</td> <td>16</td> <td>13</td> </tr> </table> ※常勤者のみ(総数27人) 	職員数内訳	H29.4.1	達成率(%)	H28.4.1	H27.4.1	医師	86	104.9	82	79	看護師	314	99.7	312	309	医療技術員	70	102.9	68	66	事務職員	19	100.0	18	16	【合計】	489	101.0	480	470		H29.4.1	達成率(%)	H28.4.1	H27.4.1	医師事務作業補助者	25	156.3	16	13	A	<ul style="list-style-type: none"> 正職員については、各職種で前年度より増加し、全体では目標を上回った。また嘱託職員等については、嘱託医師、病棟への医師事務作業補助者の配置等により前年度より増加した。 医師の業務負担軽減につながる医師事務作業補助者の配置については、H29年6月から診療報酬加算において最も高い水準(15対1)となっており、現在の水準の維持に努める。また、その他の勤務負担の軽減方針についても、院内の勤務医等負担軽減検討委員会において毎年度計画を策定し取り組みを進める。 多様な勤務形態の整備をめざし試行を続けてきた病棟の2交代勤務については、H28年4月から8階東病棟に導入し、さらに検討を続けた後、H29年4月から6階東病棟にも導入した。 																				
職員数内訳	H29.4.1	達成率(%)	H28.4.1	H27.4.1																																																													
医師	86	104.9	82	79																																																													
看護師	314	99.7	312	309																																																													
医療技術員	70	102.9	68	66																																																													
事務職員	19	100.0	18	16																																																													
【合計】	489	101.0	480	470																																																													
	H29.4.1	達成率(%)	H28.4.1	H27.4.1																																																													
医師事務作業補助者	25	156.3	16	13																																																													
③給与費の割合の抑制	<ul style="list-style-type: none"> 医業収益に対する職員給与費の割合 49.0%以下 ※地方公営企業会計基準による職員給与費から算出した比率 	<ul style="list-style-type: none"> 患者数に柔軟に対応した職員数の確保(非正規職員の採用の推進) 時間帯や各職場の需要に応じた人員の適正配置(効率配置による人員の抑制) 診療報酬制度に対応した収益向上と適正配置により、相対的に給与費比率を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 ※1 (%) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>医業収益に対する職員給与費の割合 ※2</td> <td>45.7</td> <td>107.2</td> <td>45.8</td> <td>△ 0.1</td> </tr> <tr> <td>医業収益に対する給与費総額の割合</td> <td>49.0</td> <td></td> <td>49.3</td> <td>△ 0.3</td> </tr> </table> ※1 上記の達成率(%)=目標値/実績値*100 ※2 職員給与費=地方公営企業会計基準により臨時職員の賃金等を除いたもの 		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	医業収益に対する職員給与費の割合 ※2	45.7	107.2	45.8	△ 0.1	医業収益に対する給与費総額の割合	49.0		49.3	△ 0.3	A	<ul style="list-style-type: none"> 給与費については、正職員の増加に加え、医師事務作業補助者の増員、医業収益の伸びを反映した医師の診療手当の上昇、法定福利費の増加等により対前年度4.8%増加したが、医業収益の伸び率(対前年度5.4%)が上回ったため数値は前年度より良好し目標を上回った。 医業収益の上昇については高額材料の使用による薬剤・器材収入の増加も要因となっているため、職員給与費の比率のみならず、医業費用全体と医業収益のバランスを注視していく。 																																													
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																													
医業収益に対する職員給与費の割合 ※2	45.7	107.2	45.8	△ 0.1																																																													
医業収益に対する給与費総額の割合	49.0		49.3	△ 0.3																																																													
(2)入院・外来患者の確保	<ul style="list-style-type: none"> 年間延入院患者数 年間 120,670人 病床利用率 87.0% 年間延外来患者数 年間 195,200人 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の取り組みの推進により、経営計画の目標患者数の達成を図る(診療機能のPR、地域医療連携、救急医療、高度医療の推進、患者サービス向上など) 退院支援業務の充実 患者数確保、施設基準の維持、診療報酬制度に対応した検討 病棟編成の見直し 小児病棟(39床→38床)ICU(5床→6床)(H27.6月) 医療ニーズを踏まえた検討 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>年間延入院患者数(人)</td> <td>119,633</td> <td>99.1</td> <td>118,311</td> <td>1,322</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>86.3</td> <td>99.2</td> <td>85.1</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>年間延外来患者数(人)</td> <td>200,570</td> <td>102.8</td> <td>201,687</td> <td>△ 1,117</td> </tr> <tr> <td>5西、6西、ICU、NICU(%)</td> <td>71.4</td> <td></td> <td>71.4</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>その他の病床利用率(%)</td> <td>90.8</td> <td></td> <td>89.3</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>新入院患者数(人)</td> <td>10,612</td> <td></td> <td>10,940</td> <td>△ 328</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>10.3</td> <td></td> <td>9.8</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率(%)</td> <td>97.3</td> <td></td> <td>97.5</td> <td>△ 0.2</td> </tr> </table> H28年度実績 (人) <table border="1"> <tr> <td>入院患者数増加の取組み</td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>食物アレルギー負荷試験</td> <td>209</td> <td></td> <td>226</td> <td>△ 17</td> </tr> <tr> <td>成長ホルモン負荷試験</td> <td>61</td> <td></td> <td>66</td> <td>△ 5</td> </tr> </table> 重症心身障がい児の短期入院受け入れ(H28のべ11件) H28年度実績 病棟編成の見直し 医療ニーズ等の動向を踏まえ検討 		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	年間延入院患者数(人)	119,633	99.1	118,311	1,322	病床利用率(%)	86.3	99.2	85.1	1.2	年間延外来患者数(人)	200,570	102.8	201,687	△ 1,117	5西、6西、ICU、NICU(%)	71.4		71.4	0.0	その他の病床利用率(%)	90.8		89.3	1.5	新入院患者数(人)	10,612		10,940	△ 328	平均在院日数(日)	10.3		9.8	0.5	在宅復帰率(%)	97.3		97.5	△ 0.2	入院患者数増加の取組み	H28	達成率(%)	H27	H28-H27	食物アレルギー負荷試験	209		226	△ 17	成長ホルモン負荷試験	61		66	△ 5	B	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者数については、H28年度も目標を下回った。眼科が医師退職により皆減、また消化器内科も内視鏡手術の外来へのシフトを進めたことなどで新入院患者数が前年度より減少したが、延べ患者数は前年度から増加した。 政策医療に関係する病床(小児科、NICU、ICU、産婦人科)の利用率は前年度と変わらず、その他の病床が1.5ポイント上昇した。病床機能については、市立病院の役割と今後の医療制度や医療ニーズを踏まえながら検討を続ける。 外来患者数は、眼科で大きく減少した一方、放射線治療の患者数が大きく伸びたことで、延べ患者数では前年度より減少したが目標を上回った。 小児科においては、学校園や保健所との連携により、低身長・食物アレルギー疾患に対する啓発活動、検査入院の受け入れ、及び重症心身障がい児の短期受け入れ(レスパイト入院)を継続し、市民の健康維持に貢献するとともに、病床の有効活用を図った。
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																													
年間延入院患者数(人)	119,633	99.1	118,311	1,322																																																													
病床利用率(%)	86.3	99.2	85.1	1.2																																																													
年間延外来患者数(人)	200,570	102.8	201,687	△ 1,117																																																													
5西、6西、ICU、NICU(%)	71.4		71.4	0.0																																																													
その他の病床利用率(%)	90.8		89.3	1.5																																																													
新入院患者数(人)	10,612		10,940	△ 328																																																													
平均在院日数(日)	10.3		9.8	0.5																																																													
在宅復帰率(%)	97.3		97.5	△ 0.2																																																													
入院患者数増加の取組み	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																													
食物アレルギー負荷試験	209		226	△ 17																																																													
成長ホルモン負荷試験	61		66	△ 5																																																													

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																																																		
(3) 診療単価の向上	<ul style="list-style-type: none"> 入院診療単価 61,235 円 外来診療単価 15,110 円 	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の取り組みの推進により、経営計画の目標設定の診療単価の達成を図る ・医療機器を活用した検査・治療の充実 ・検査待ち日数の短縮化 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度実績 (税抜き 円) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>入院患者1人1日当収入</td> <td>64,664</td> <td>105.6</td> <td>63,507</td> <td>1,157</td> </tr> <tr> <td>外来患者1人1日当収入</td> <td>17,810</td> <td>117.9</td> <td>15,580</td> <td>2,230</td> </tr> </table> ・H28年度実績 (件) <table border="1"> <tr> <td>高度医療機器の活用</td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>14,884</td> <td></td> <td>13,873</td> <td>1,011</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>6,303</td> <td></td> <td>6,120</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>マンモグラフィ</td> <td>3,609</td> <td></td> <td>3,634</td> <td>△ 25</td> </tr> <tr> <td>血管造影(検査・治療)</td> <td>1,546</td> <td></td> <td>1,206</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td>内視鏡(検査・治療)</td> <td>5,430</td> <td></td> <td>5,566</td> <td>△ 136</td> </tr> <tr> <td>超音波検査</td> <td>15,090</td> <td></td> <td>14,457</td> <td>633</td> </tr> </table> ・算定件数増加等による増収(出来高ベースで試算) 医師事務作業補助体制加算 1,618万円、 放射線治療関係 19,083万円など ・DPC・コーディング委員会による分析・検討と現場への提案 ・退院時点検(コード適正化)効果額 5,885万円 		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	入院患者1人1日当収入	64,664	105.6	63,507	1,157	外来患者1人1日当収入	17,810	117.9	15,580	2,230	高度医療機器の活用	H28	達成率(%)	H27	H28-H27	CT	14,884		13,873	1,011	MRI	6,303		6,120	183	マンモグラフィ	3,609		3,634	△ 25	血管造影(検査・治療)	1,546		1,206	340	内視鏡(検査・治療)	5,430		5,566	△ 136	超音波検査	15,090		14,457	633	A	<ul style="list-style-type: none"> ・診療単価については、入院では主に全身麻酔手術、カテーテル治療件数の増による処置・手術収入の増加、外来では主に放射線治療による収入、抗がん剤使用による注射収入の増加により入院・外来とも前年度実績及び目標を上回った。 ・診療単価上昇の一方、医療材料(薬品、償還材料)も増加しており、調達交渉をさらに強化するとともに、診療報酬の維持・増加に向けた方策を引き続き検討する。 ・血管造影撮影については、前年度に機器更新による休止期間があったため対前年度で大幅増となった。医療ニーズの増加に対応しH28年度に更に1台を増設し、H29年度以降更なる件数増を見込む。 ・その他では、CT、MRI検査の件数は前年度より増加したが、いずれも入院では減少し外来で増加した。超音波検査についても、H27年度は入院での増加が大きかったが、H28年度は633件の増のうち外来で550件の増となった。 ・DPCコーディング委員会、診療報酬委員会において、DPC分析ツールを活用したベンチマーク分析、施設基準や加算の検討など、医療安全に配慮しながら収益とコストの両面からの適切な分析と情報提供を行った。
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																			
入院患者1人1日当収入	64,664	105.6	63,507	1,157																																																			
外来患者1人1日当収入	17,810	117.9	15,580	2,230																																																			
高度医療機器の活用	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																			
CT	14,884		13,873	1,011																																																			
MRI	6,303		6,120	183																																																			
マンモグラフィ	3,609		3,634	△ 25																																																			
血管造影(検査・治療)	1,546		1,206	340																																																			
内視鏡(検査・治療)	5,430		5,566	△ 136																																																			
超音波検査	15,090		14,457	633																																																			
(4) 医業収益の確保	<ul style="list-style-type: none"> レセプト平均査定率 0.35 % 以下 徴収率(現年度分) 99.0 % 以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬への適切な反映 ・診療報酬委員会での分析と対応 ・診療報酬精度調査(年2回)等 ・債権管理条例に対応した管理体制の継続実施 ・窓口未収金の督促・未収金発生防止策の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度の状況(28.12月請求分まで) (%) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>レセプト平均査定率 ※</td> <td>0.50</td> <td>70.0</td> <td>0.51</td> <td>△ 0.01</td> </tr> </table> ※上記の達成率(%)=目標値/実績値*100(実績値が低いほど良い) ・査定に対する検証と対策(算定方法見直し、異議申請等) ・診療報酬精度調査(1回) ・H28年度実績 (%、件) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>窓口収入徴収率(現年)</td> <td>99.60</td> <td>100.6</td> <td>99.45</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>電話督促件数</td> <td>1,423</td> <td></td> <td>1,445</td> <td>△ 22</td> </tr> <tr> <td>文書督促件数</td> <td>650</td> <td></td> <td>649</td> <td>1</td> </tr> </table> 		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	レセプト平均査定率 ※	0.50	70.0	0.51	△ 0.01		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	窓口収入徴収率(現年)	99.60	100.6	99.45	0.15	電話督促件数	1,423		1,445	△ 22	文書督促件数	650		649	1	B	<ul style="list-style-type: none"> ・査定率については前年度より僅かに下がったが目標を0.15ポイント上回り未達成であった。カテーテル治療件数、がん手術件数、高額な薬品の使用量増加等に伴い収益が増加した反面、査定額も大きくなる傾向が続いている。 ・診療報酬精度調査等を継続し適正な請求に努めるとともに、査定に対しては診療報酬委員会において内容を検討し、必要なものは異議申請の手続きを行っており、これらの取り組みを継続する。 ・窓口収入の徴収率は目標を上回った。未収金については引き続き定期的なはたらきかけにより早期の収納に努める。 																				
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																			
レセプト平均査定率 ※	0.50	70.0	0.51	△ 0.01																																																			
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																			
窓口収入徴収率(現年)	99.60	100.6	99.45	0.15																																																			
電話督促件数	1,423		1,445	△ 22																																																			
文書督促件数	650		649	1																																																			
(5) 診療材料費の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> 医業収益に対する材料費の割合 23.0 % 以下 後発医薬品指数 60.0 % 以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・医業収益向上の取り組みと合わせ、相対的に材料費比率を抑制 【診療材料】 ・共同購入品数の増 ・PFI事業者と現場の協力による価格交渉 ・診療材料の市場価格調査 ・SPCにおいて、半期毎の削減計画 【医薬品】 ・後発品への切り替え促進 ・単価交渉の取り組み状況の確認 ・薬剤部から医師への働きかけを継続 ・協力企業の交渉状況のモニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度実績 (%) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>医業収益に対する材料費の割合 ※</td> <td>26.0</td> <td>88.5</td> <td>24.3</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品指数</td> <td>86.4</td> <td>144.0</td> <td>77.3</td> <td>9.1</td> </tr> </table> ※上記の達成率(%)=目標値/実績値*100(実績値が低いほど良い) ・H28年度実績 (%) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用率(3月現在)</td> <td>21.0</td> <td></td> <td>20.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品利用率(年間)</td> <td>8.1</td> <td></td> <td>9.0</td> <td>△ 0.9</td> </tr> </table> ※血液、麻薬、RI薬品を除く ・共同購入還元金分 2,636万円(税抜き) ・共同購入、企業努力による削減 2,403万円(税抜き) 		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	医業収益に対する材料費の割合 ※	26.0	88.5	24.3	1.7	後発医薬品指数	86.4	144.0	77.3	9.1		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	後発医薬品採用率(3月現在)	21.0		20.5	0.5	後発医薬品利用率(年間)	8.1		9.0	△ 0.9	B	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費については、薬品費は主に高額な抗がん剤の使用増により対前年度約2億700万円(12.4%)の伸び、また診療材料費は主にカテーテル治療の増加により約1億5,100万円(14.0%)の伸びとなり、これらの結果、医業収益に対する材料費の割合は前年度から1.7ポイント上昇し、目標を3.0ポイント上回った。 ・後発品の使用状況に関する指標である後発医薬品指数は目標を上回っており切替は進んでいるが、一方で高度医療の充実により材料費の伸びは続くものと予想されるため、引き続き現場の理解と協力のもと、PFI事業者の値引き交渉や同種同効品への切替提案の強化、また共同購入のメリットを生かしたコスト削減の取り組みを求めていく。 																				
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																			
医業収益に対する材料費の割合 ※	26.0	88.5	24.3	1.7																																																			
後発医薬品指数	86.4	144.0	77.3	9.1																																																			
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																																																			
後発医薬品採用率(3月現在)	21.0		20.5	0.5																																																			
後発医薬品利用率(年間)	8.1		9.0	△ 0.9																																																			

経営計画の項目【3】	目標値又は目標とした状況	進捗に至る具体的な方法など	実施状況	評価	取り組みの評価・課題など																				
(6)医療機器等の整備・更新	<ul style="list-style-type: none"> 機能拡充に向けた施設整備 必要性、導入効果等を勘案し、計画的に購入 事業費の計画額(税抜き) 415百万円 (H28予算 482百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> 機能拡充に向けた施設整備の推進(H25年度～27年度) 更新対象医療機器の使用状況と更新の必要性、収益見込み等を考慮した整備 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 (税抜き 百万円) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>医療機器等購入費</td> <td>485</td> <td></td> <td>977</td> <td>△ 492</td> </tr> </table> 医療機器等整備委員会における更新対象機器の選定、価格交渉状況の確認等 		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	医療機器等購入費	485		977	△ 492	A	<ul style="list-style-type: none"> 循環器内科の需要の増加に対応するため、血管撮影装置を増設したほか、新病院開院当時から使用する一般X線撮影装置、X線TV装置、注射薬払出システム、自動分包機等の更新等を行った。 機器整備については、医療機器等整備委員会により優先順位を決定するとともに、PFI事業者の交渉状況をチェックしながら適正な価格による購入に努めた。 										
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																					
医療機器等購入費	485		977	△ 492																					
(7)PFI事業者の経営支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 各業務の充実にに向けたマネジメント機能の発揮 経営計画の目標達成に向けた経営支援、広報活動の充実 PFI事業関係費の変動費の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬制度に対応した診療体制整備、診療報酬請求等の検証・提案 病院とSPCの協力による調達業務におけるコスト削減 市立病院の機能の広報(市民・医療機関) 患者サービス向上の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 収益向上 診療単価の向上、診療収益の確保⇒3-(3)、3-(4)、3-(5) 費用削減 調達コストの縮減 ⇒3-(5)、3-(6) その他経費の節減に係る提案 ⇒3-(8)、3-(9) 患者サービス向上・その他 公開講座の運営、地域医療機関等への訪問、PR等⇒1-(1) 患者満足度向上、ロビーコンサート、絵画展の運営等TQM活動への参加⇒1-(6) 市災害医療センターの機能強化 ⇒1-(7) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度の事業計画に従い進められており、PFI事業者によるセルフモニタリングと病院によるモニタリングを継続実施するとともに、特に支出額の増加が続く材料の調達や、要望が増加する医療機器の更新について、随時交渉の進捗を確認しながら協議を進めた。 PFI事業者に対しては、病院収益の向上への貢献としてインセンティブ支払いを継続するとともに、病院事業に対するサービスの維持・向上に努めた企業をSPCが推薦し、病院が表彰する第3回「ベストパートナーズアワード」を5月に実施した。 																				
(8)病院維持管理運営事業の検討(平成31年度以降の手法検討)	<ul style="list-style-type: none"> PFI事業の検証 H31年度以降の手法検討 移行に向けての手続き 	<ul style="list-style-type: none"> PFI事業検証・評価の実施(H27) 現PFI契約期間終了後の次期運営手法の検討、運営手法決定(H28) 移行に向けての手続き(H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度実績 <table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td colspan="3">H28</td> </tr> <tr> <td>次期運営手法の検討・決定</td> <td colspan="3">「PFI契約期間終了後の八尾市立病院維持管理・運営に関する支援業務」業務委託期間(6月～3月)</td> </tr> </table> 上記業務委託の実施、結果を踏まえた検討、次期事業手法の決定 PFI事業の計画額に対する支出額 (税込 百万円) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>計画額</td> <td>対計画(%)</td> </tr> <tr> <td>H16から当該年度まで</td> <td>51,075</td> <td>63,527</td> <td>80.4</td> </tr> </table> ※計画額＝債務負担行為限度額(変更後) ※計画額は変更後の限度額 	計画	H28			次期運営手法の検討・決定	「PFI契約期間終了後の八尾市立病院維持管理・運営に関する支援業務」業務委託期間(6月～3月)				H28	計画額	対計画(%)	H16から当該年度まで	51,075	63,527	80.4	A	<ul style="list-style-type: none"> 現PFI契約期間終了後の維持管理・運営手法については、現PFI事業の評価、事業手法・事業スキームの検討、VFMの算定等を実施し、これの結果を踏まえて検討した結果、次期事業としてPFI方式を継続する方針とした。 H30年度までの15年間の計画額(債務負担行為の限度額)に対する支出額の見込みは、医療内容の変化により材料費等の伸びが続き、計画額を上回る見込みとなったため、H28年度の補正予算において限度額を引き上げた。病院職員との協働により円滑で効率的な業務運営に努めるとともに、材料調達や医療機器更新等の変動費の抑制についてSPC・協力企業のさらなる努力を求めている。 				
計画	H28																								
次期運営手法の検討・決定	「PFI契約期間終了後の八尾市立病院維持管理・運営に関する支援業務」業務委託期間(6月～3月)																								
	H28	計画額	対計画(%)																						
H16から当該年度まで	51,075	63,527	80.4																						
(9)その他の経費など	<ul style="list-style-type: none"> 電気・ガス・水道の使用量の減(前年度以下) 省エネルギー化に向けた検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> H23年度に実施した節電対策を通年で継続実施 省エネルギー推進委員会の活動 ごみ減量計画の策定(毎年度) 可燃ごみの排出量の抑制 来院者への「減量」「分別」への協力依頼 消耗品費等の抑制 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー委員会の設置による削減の取り組み 病棟における電力消費量のチェック⇒看護部を通じ指導 夏季・冬季の節電対策の継続実施 執務室の室温28度設定の徹底、消灯励行 上りエスカレータの16時以降の運転停止 自動扉の一部閉鎖、自販機の省エネモード運用 雑用水の再生水活用(再生水 22.9千m³・617千円) H28年度実績 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>達成率(%)</td> <td>H27</td> <td>H28-H27</td> </tr> <tr> <td>電気(千kwh)</td> <td>7,344</td> <td></td> <td>7,456</td> <td>△ 112</td> </tr> <tr> <td>ガス(千m³)</td> <td>1,285</td> <td></td> <td>1,184</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>水道(再生水含む)(千m³)</td> <td>125</td> <td></td> <td>114</td> <td>11</td> </tr> </table> ごみ減量計画の作成と関係機関への提出 可燃ごみの排出量の管理 共同購入による消耗品費削減 3-(5) 		H28	達成率(%)	H27	H28-H27	電気(千kwh)	7,344		7,456	△ 112	ガス(千m ³)	1,285		1,184	101	水道(再生水含む)(千m ³)	125		114	11	B	<ul style="list-style-type: none"> 夏季の節電対策を継続するとともに、省エネルギー委員会の方針のもと、病棟を中心とした電力消費量の測定継続、省エネ意識調査等を実施した。今後院内への省エネガイドラインの啓発、電気・ガスの購入方法の検討を行う。 H28年度は、ガス単価の引き下げの影響が大きく、全体で前年度を11.5%下回った。引き続き、ガス(コ・ジェネ発電)との効果的な運用に努める。 水道(下水道含む)については、再生水活用により費用抑制に努めたが使用料は増加しており、電気と同様に使用状況の「見える化」を検討する。 H28年度の金額(税込) ()は前年度比 電気 124,975千円(△9.8%) ガス 75,239千円(△23.5%) 水道 63,216千円(4.3%)(再生水、下水道料金含む) 合計 263,430千円(△11.5%)
	H28	達成率(%)	H27	H28-H27																					
電気(千kwh)	7,344		7,456	△ 112																					
ガス(千m ³)	1,285		1,184	101																					
水道(再生水含む)(千m ³)	125		114	11																					

※「実施状況」欄における「達成率(%)」は、経営計画(Ver. II)で設定した平成28年度の年間目標に対する年間の実績の割合。 また「H28」は、平成28年度実績。